HP ZR2040w、ZR2240w、ZR2440w、およびZR2740w LCD モニター

ユーザー ガイド

このガイドについて

このガイドでは、モニターのセットアップ、ドライバーのインストール、オンスクリーン ディスプレイ メニュー（一部のモデルのみ）の使用方法、トラブルの解決方法、およびモニターの仕様について説明します。

警告！ その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

注意： その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

注記： 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特長

LCD（液晶ディスプレイ）モニターでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）を採用しています。すべてのモデルには以下の特長があります。

- 水銀不使用の LED バックライト
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 固定器具に取り付ける場合に便利な、取り外し可能なモニター台および VESA 準拠の取り付け穴
- HP スピーカー バー（別売）をサポート
- プラグ アンド プレイ機能（オペレーティング システムでサポートされる場合）
- モニターの背面にオプションのセキュリティ ロック ケーブル用のスロットを搭載
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- モニター ドライバー、ユーティリティ、および製品の説明書が収録された『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジー セーブ機能
- インテリジェント マネジメント機能による資産管理
- EU（欧州連合）RoHS 指令に準拠

ZR2040w モデル

ZR2040w モデルの特長は以下のとおりです。

- 表示領域 20 インチ（対角長 50.8 cm）のディスプレイ、1600×900 の解像度以下でフル スクリーン サポート
- VGA アナログ ビデオ入力信号をサポート：VGA ビデオ（信号）ケーブルが付属
- DVI デジタル ビデオ入力信号をサポート：DVI-D ビデオ ケーブルが付属
- DisplayPort デジタル ビデオ入力信号をサポート：DisplayPort ビデオケーブルが付属
- 横向きおよび縦向きに対応
- 傾斜角度調節
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ユーティリティ ソフトウェア

- 自動調整用パターン ユーティリティ
- 左右からの視線を遮断するプライバシ フィルター（別売）用スロット
- 国際エネルギー スター プログラムへの準拠、および TCO 要件への適合

ZR2240w モデル

ZR2240w モデルの特長は以下のとおりです。

- 表示領域 21.5 インチ（対角長 54.7 cm）のディスプレイ、1920×1080 の解像度以下でフル スクリーン サポート
- VGA アナログ ビデオ入力信号をサポート：VGA ビデオ（信号）ケーブルが付属
- DVI デジタル ビデオ入力信号をサポート：DVI-D ビデオ ケーブルが付属
- HDMI デジタル ビデオ入力信号をサポート
- ダイナミック コントラスト比： 2,000,000:1
- DisplayPort デジタル ビデオ入力信号をサポート：DisplayPort ビデオケーブルが付属
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム コネクタ（コンピューターに接続）×1、ダウンストリーム コネクタ（USB デバイスに接続）×4）
- モニターの USB ハブとコンピューターの USB コネクタを接続する USB ケーブルが付属
- 作業を快適にする 8 通りの調整機能（高さ、傾斜角度、ディスプレイの向き、および回転角度の調整）
- フラッシュ マウント方式の HP クイック リリース 2 により、ワンタッチですばやくパネルを取り付けたり、リリース タブをスライドさせるだけでパネルを取り外したりすることが可能
- サポートへの問い合わせに必要な情報が記載された、簡単に取り出せる引き出し式情報カード
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ユーティリティ ソフトウェア
- 自動調整用パターン ユーティリティ
- 左右からの視線を遮断するプライバシ フィルター（別売）用スロット
- 国際エネルギー スター プログラムへの準拠、および TCO 要件への適合

ZR2440w モデル

ZR2440w モデルの特長は以下のとおりです。

- 表示領域 24 インチ（対角長 61.1 cm）のディスプレイ、1920×1200 の解像度以下でフル スクリーン サポート
- DisplayPort デジタル ビデオ入力信号をサポート：DisplayPort ビデオケーブルが付属
- HDMI デジタル ビデオ入力信号をサポート
- DVI デジタル ビデオ入力信号をサポート：DVI-D ビデオ ケーブルが付属
- ダイナミック コントラスト比： 2,000,000:1
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム コネクタ（コンピューターに接続）×1、ダウンストリーム コネクタ（USB デバイスに接続）×4）
- モニターの USB ハブとコンピューターの USB コネクタを接続する USB ケーブルが付属
- SPDIF デジタル オーディオ出力信号
- 2.0 サウンドに対応したアナログ オーディオ出力信号
- 作業を快適にする 8 通りの調整機能（高さ、傾斜角度、ディスプレイの向き、および回転角度の調整）
- フラッシュ マウント方式の HP クイック リリース 2 により、ワンタッチですばやくパネルを取り付けたり、リリース タブをスライドさせるだけでパネルを取り外したりすることが可能
- サポートへの問い合わせに必要な情報が記載された、簡単に取り出せる引き出し式情報カード
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ユーティリティ ソフトウェア
- 左右からの視線を遮断するプライバシ フィルター（別売）用スロット
- 国際エネルギー スター プログラムへの準拠、および TCO 要件への適合

ZR2740w モデル

ZR2740w モデルの特長は以下のとおりです。

- 27 インチ（対角長 68.7 cm）の表示領域、2560×1440 の解像度
- DVI デジタル ビデオ入力信号をサポート：DVI-デュアル リンク ビデオ ケーブルが付属
- DisplayPort デジタル ビデオ入力信号をサポート：DisplayPort ビデオケーブルが付属
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム コネクタ（コンピューターに接続）×1、ダウンストリーム コネクタ（USB デバイスに接続）×4）
- モニターの USB ハブとコンピューターの USB コネクタを接続する USB ケーブルが付属
- 作業を快適にする 8 通りの調整機能（高さ、傾斜角度、ディスプレイの向き、および回転角度の調整）
- フラッシュ マウント方式の HP クイック リリース 2 により、ワンタッチですばやくパネルを取り付けたり、リリース タブをスライドさせるだけでパネルを取り外したりすることが可能
- サポートへの問い合わせに必要な情報が記載された、簡単に取り出せる引き出し式情報カード

2　安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについては、付録 C の63 ページの「電源コードの要件」を参照してください。

警告！　感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト（http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します）から参照できます。また、モニターに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

注意：　モニターおよびコンピューターを保護するために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり安定しているモニター設置用の台等に設置してください。

警告！　化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に設置した場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、つまずいたりしないように注意する必要があります。

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っ張って抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーン セーバー プログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

注記： 画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニター台を取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. （モニターの背面にある）主電源スイッチでモニターをオフにし、モニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピル アルコールを 50：50 に混合した溶液を使用します。

注意： 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまい、電子部品が損傷するおそれがあります。

注意： ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3　モニターのセットアップ

モニターをセットアップするには、モニター、コンピューター システム、およびコンピューターに接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の操作を行います。

注記：　モニターの背面にある主電源スイッチが OFF の位置にあることを確認してください。主電源スイッチを切るとモニターのすべての電源がオフになります。

モニター台の取り付け

注記：　壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けて使用する場合はモニター台を取り付けないでください。詳しくは、この章の20 ページの「HP 製ではない固定器具へのモニターの取り付け」を参照してください。

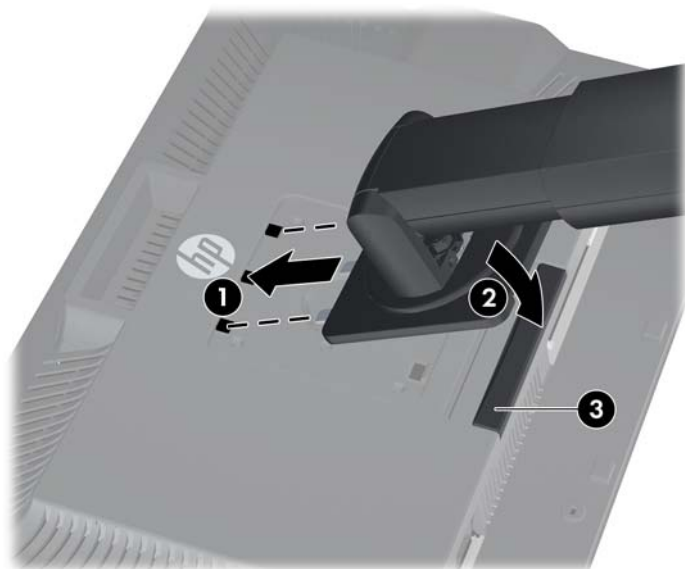
注意：　モニターを取り扱う際は、LCD パネルの表面に触れないように注意してください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

ZR2040w を組み立てるには、以下の図に示すように、モニター台の支柱部分を垂直に立てて台に差し込みます。

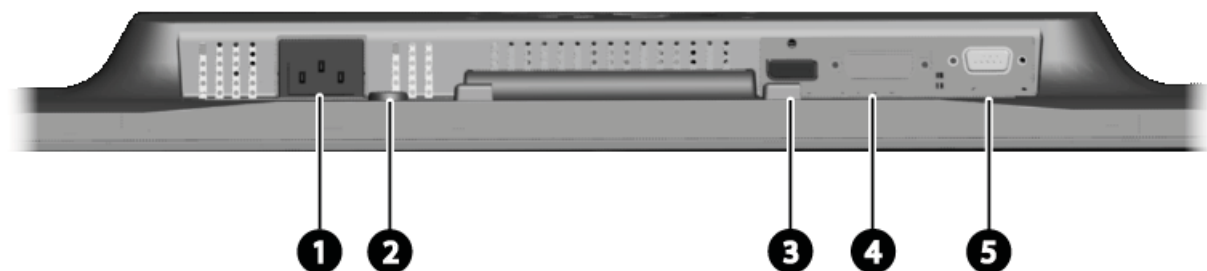
図 3-1 ZR2040w のモニター台の組み立て

ZR2240w、ZR2440w、および ZR2740w モデルでは、HP クイックリリース 2 の機構を使用してモニターを簡単に動かすことができます。パネルをモニター台に取り付けるには、以下の操作を行います。

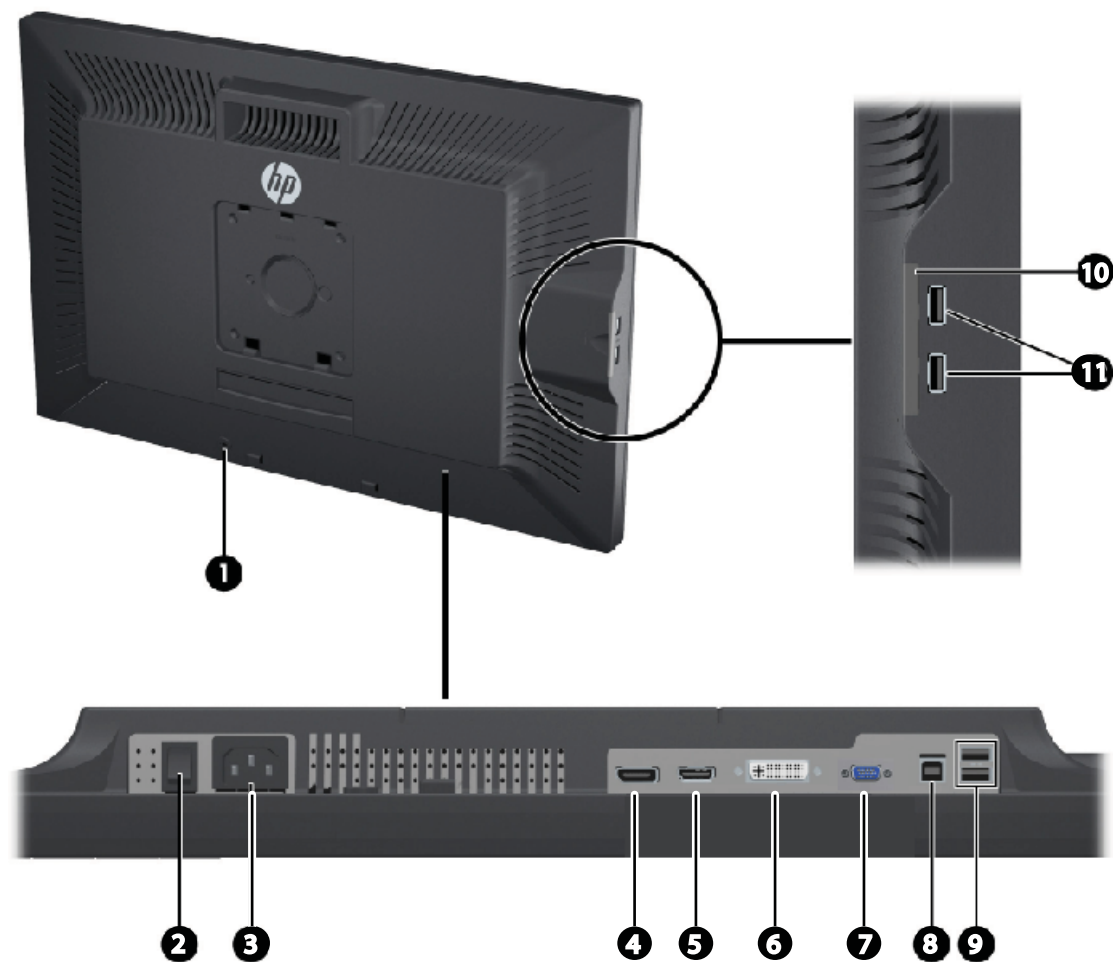
1. モニター台のマウント プレートを、パネル背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます。
2. モニター台をくぼみに挿入し、カチッという音がするまで押し込みます。
3. モニターが所定の位置に固定されると、HP クイック リリース 2 のラッチが飛び出します。

図 3-2　パネルの HP クイック リリース 2 への取り付け

背面の各部

ZR2040w モデル

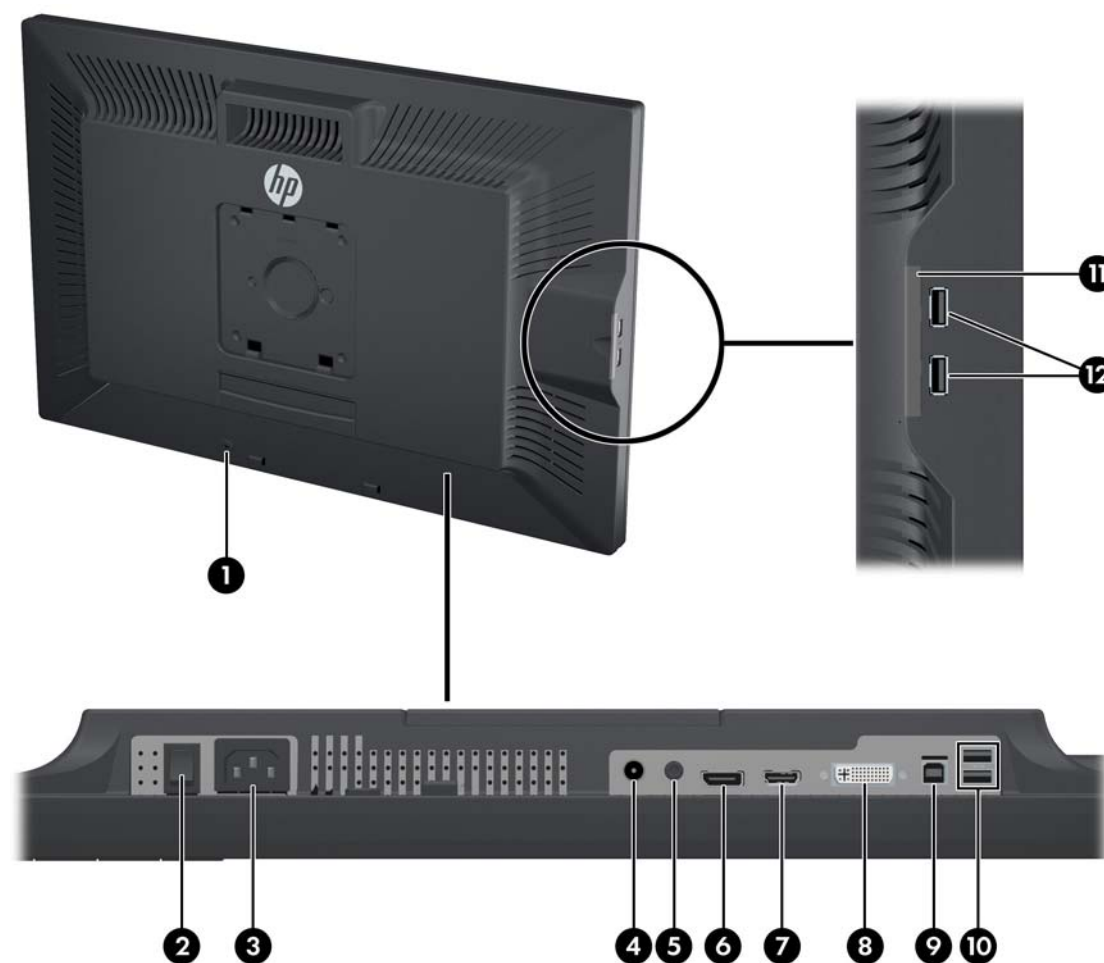
図 3-3　ZR2040w のリア パネルの各部

名称		機能
1	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
2	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
3	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
4	DVI-D コネクタ	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
5	VGA コネクタ	VGA ケーブルをモニターに接続します

ZR2240w モデル

図 3-4　ZR2240w のリア パネルの各部

名称		機能
1	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
2	主電源スイッチ	モニターのすべての電源をオフにします
3	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
4	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
5	HDMI コネクタ	HDMI ケーブルをモニターに接続します
6	DVI-D コネクタ	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
7	VGA コネクタ	VGA ケーブルをモニターに接続します
8	USB アップストリーム コネクタ	モニターの USB ハブ ケーブルをコンピューターの USB コネクタ/ハブに接続します
9	USB ダウンストリーム コネクタ	別売の USB デバイスをモニターに接続します

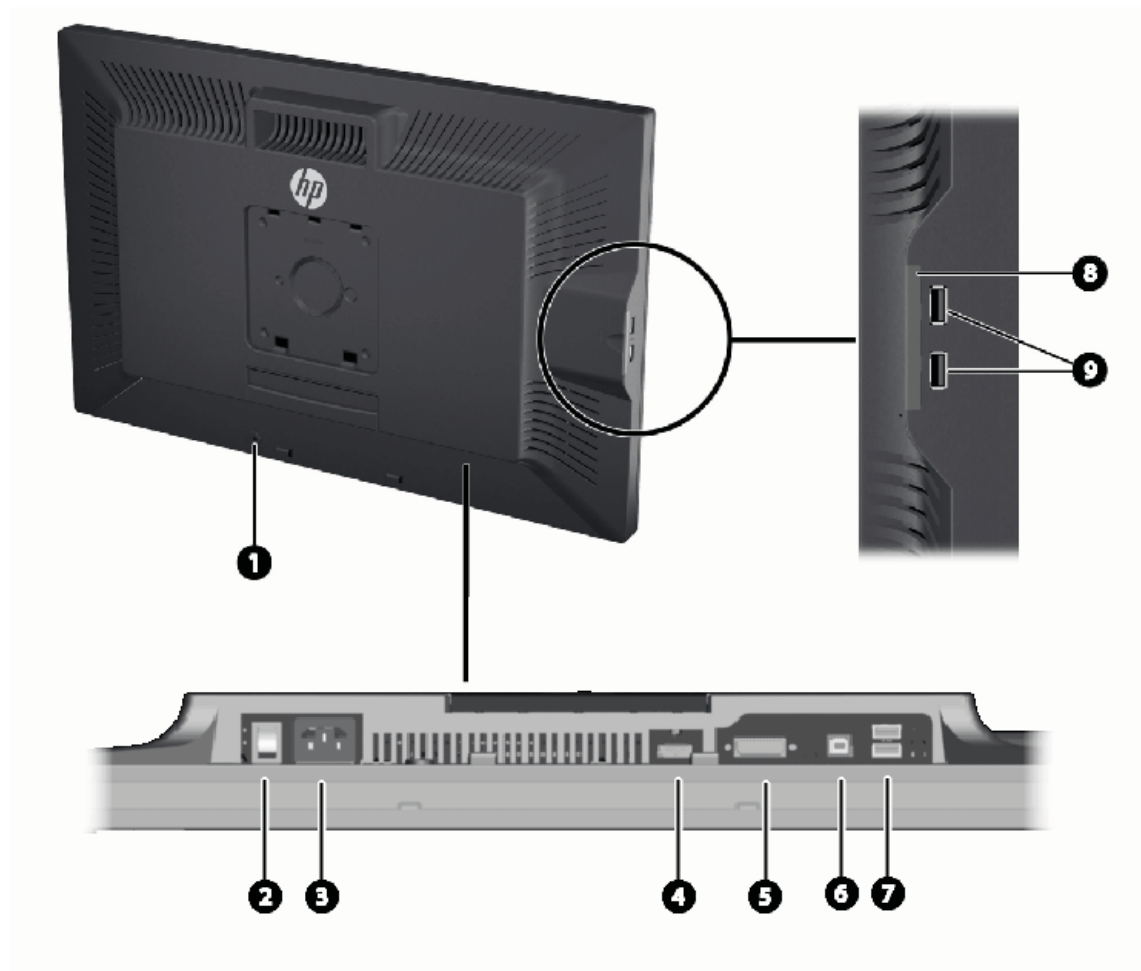
名称		機能
10	情報カード	サポートへの問い合わせの必要な情報が記載されています
11	USB ダウンストリーム コネクタ（サイド パネル）	別売の USB デバイスをモニターに接続します

ZR2440w モデル

図 3-5 ZR2440w のリア パネルの各部

名称		機能
1	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
2	主電源スイッチ	モニターのすべての電源をオフにします
3	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
4	デジタル オーディオ出力	RCA プラグ付きオーディオ ケーブルをモニターに接続します

名称		機能
5	アナログ オーディオ出力	3.5 mm L/R ミニ プラグ付きオーディオ ケーブルをモニターに接続します
6	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
7	HDMI コネクタ	HDMI ケーブルをモニターに接続します
8	DVI-D コネクタ	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
9	USB アップストリーム コネクタ	モニターの USB ハブ ケーブルをコンピューターの USB コネクタ/ハブに接続します
10	USB ダウンストリーム コネクタ	別売の USB デバイスをモニターに接続します
11	情報カード	モニターに関する情報が記載されています
12	USB ダウンストリーム コネクタ（サイド パネル）	別売の USB デバイスをモニターに接続します

ZR2740w モデル

図 3-6 ZR2740w のリア パネルの各部

名称		機能
1	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
2	主電源スイッチ	モニターのすべての電源をオフにします
3	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
4	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
5	DVI-D コネクタ	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
6	USB アップストリーム コネクタ	モニターの USB ハブ ケーブルをコンピューターの USB コネクタ/ハブに接続します
7	USB ダウンストリーム コネクタ	別売の USB デバイスをモニターに接続します

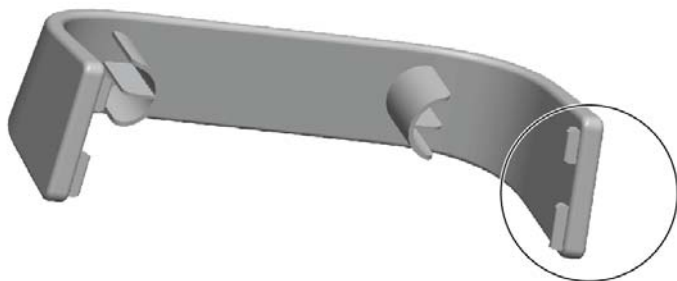
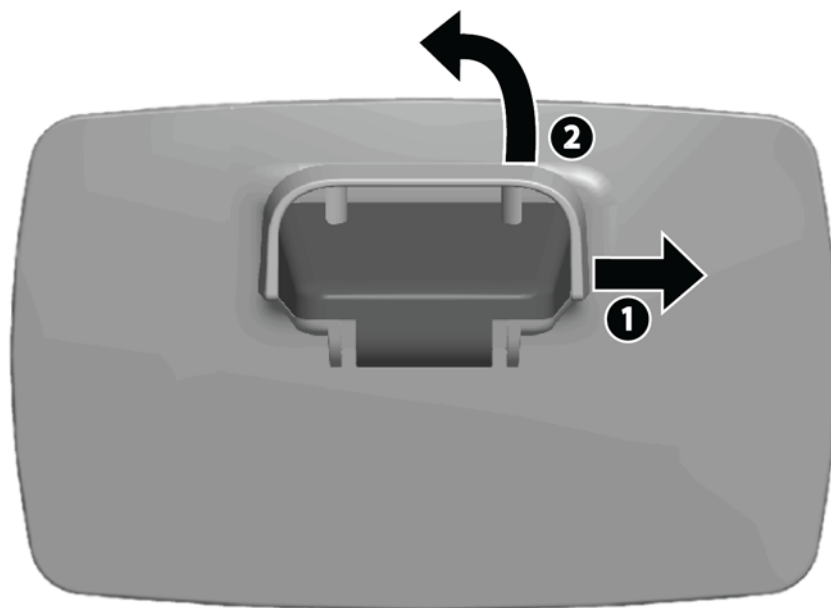
名称		機能
8	情報カード	サポートへの問い合わせの必要な情報が記載されています
9	USB ダウンストリーム コネクタ（サイド パネル）	別売の USB デバイスをモニターに接続します

ケーブルの配線および接続

モニターを、コンピューターの近くの、作業がしやすく通気の良い場所に置きます。

ZR2040w モデル

ZR2040w のモニター台には、ケーブル固定バーが 4 つのタブで取り付けられています。

図 3-7 ケーブル固定バー

1. このバーを取り外すには、まずバーの一方の端をモニター台から引き離します（1）。完全に引き離すと、バーを取り外すことができます（2）。

2. 付属のビデオ ケーブルを、10 ページの「ZR2040w モデル」に示されているコネクタに接続します。すべてのケーブルを接続する必要はありません。
3. 接続したケーブルごとに、ケーブルのもう一方の端をコンピューターの適切なコネクタに接続します。

4. 外部電源コードを接続し、電源コンセントに差し込みます。

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

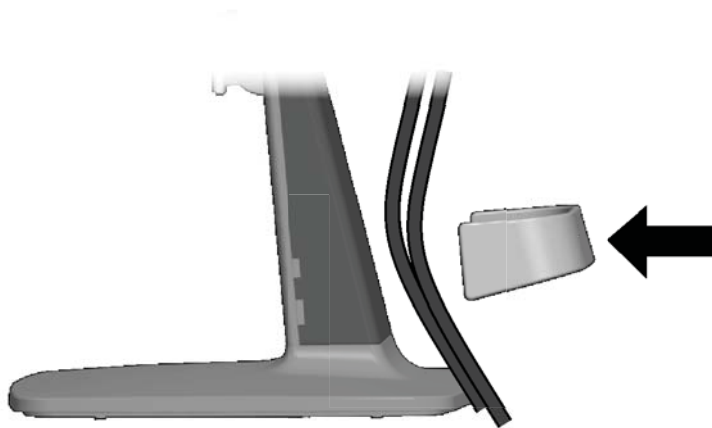
必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

電源コードは、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

モニターへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

5. ビデオ ケーブルをまとめ、ケーブル固定バーを取り付けなおしてケーブルを固定します。

図 3-8 ZR2040w モデルのケーブル配線

ZR2240w、ZR2440w、および ZR2740w モデル

1. 支柱の前面にあるケーブル配線カバーをまっすぐ引っ張って取り外します。

   図 3-9 ケーブル配線カバー

2. ケーブルを接続する前に、ケーブルを支柱のケーブル配線穴に通し（1）、ケーブル配線カバーを元の位置に戻します（2）。

   図 3-10 ケーブル配線

3. 目的の信号ソースを接続します。モニターのコネクタの位置については、図（10 ページの「背面の各部」）を参照してください。コネクタごとに、適切なケーブルの一方の端を差し込みます。もう一方の端をコンピューターまたは他のビデオ ソースに接続します。

   ZR2440w モデルは、HDMI 入力および DisplayPort 入力からのオーディオ出力をサポートしています。デジタル出力には RCA ジャックを、アナログ 2.0 サウンドには 3.5 mm ミニジャックを使用してください。

   注記： すべてのコネクタをビデオ ソースに接続する必要はありません。

4. USB デバイス（デジタル カメラ、USB キーボード、USB マウスなど）を使用する場合は、付属の USB ハブ ケーブルの一方の端をコンピューターのリア パネルの USB ハブ コネクタに接続して、もう一方の端をモニターの USB アップストリーム コネクタに接続します。これで、4 つの USB ダウンストリーム コネクタ（2 つは背面、2 つは側面にあります）をデバイスのために使用できます。

   図 3-11 USB ケーブルの接続

5. 電源ケーブルの一方の端をモニターのリア パネルの外部電源コネクタに接続して、もう一方の端を電源コンセントに接続します。

警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

電源コードは、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

モニターへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

HP 製ではない固定器具へのモニターの取り付け

モニターは、VESA 準拠の固定器具に取り付けることができます。

注記： この固定器具は、UL または CSA の認定を受けた、壁への取り付け器具で支えるように設計されています。

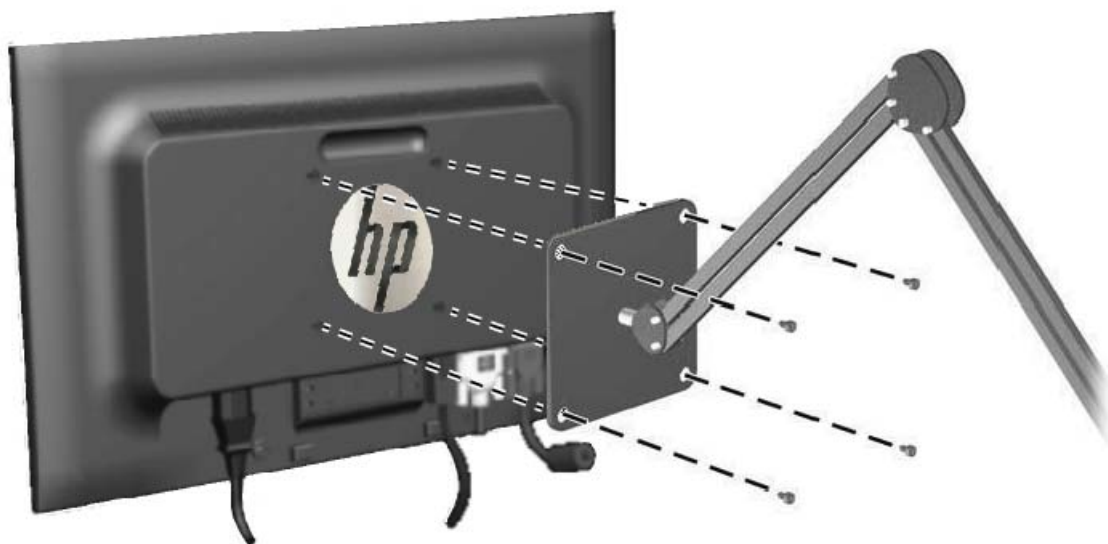
注意： HP クイック リリース 2 を直接壁に取り付けてモニターのパネルを取り付けることができます。クイック リリースは、最大 10.9 kg の質量を支えられるように設計されています。壁に取り付ける場合は、必要なネジの種類や数の判断、および実際の質量を支えられるように正しく取り付けられているかどうかの確認について、工学分野または建築学分野の資格を持つ技術者に相談することをおすすめします。

お使いのモデルの質量については、51 ページの「技術仕様」を参照してください。

作業を始める前に、モニターの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオ ケーブルが取り外されていることを確認してください。また、USB ケーブルを取り外してください。パネルを保護するために、パネルを下向きにして安定した平らな場所に置きます。

ZR2040w のパネルの取り付け

1. パネルをモニター台に固定している 4 つのネジを取り外します。
2. パネルを取り付けるには、モニター背面の HP ロゴの周りにある 4 つのネジ穴を使用します。

図 3-12 ZR2040w モデルの取り付け

注意： このモニターは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

3. パネルを縦向きに取り付ける場合は、画像を回転させて向きを合わせる必要があります。詳しくは、29 ページの「縦向き」を参照してください。

クイックリリース パネルの取り付け

ZR2240w、ZR2440w、および ZR2740w は、次の 2 つの方法で VESA 準拠のハードウェアに取り付けることができます。

- HP スタンドを取り外し、HP クイック リリース 2 のくぼみにある VESA 準拠のネジ式取り付け穴（100×100）を使用する（適切な長さのネジが付属しています）。
- または、以下の説明に沿って、HP クイック リリース 2 の機能を使用して VESA 準拠のマウント用ハードウェアに取り付ける。

最初に、モニター台を取り外します。

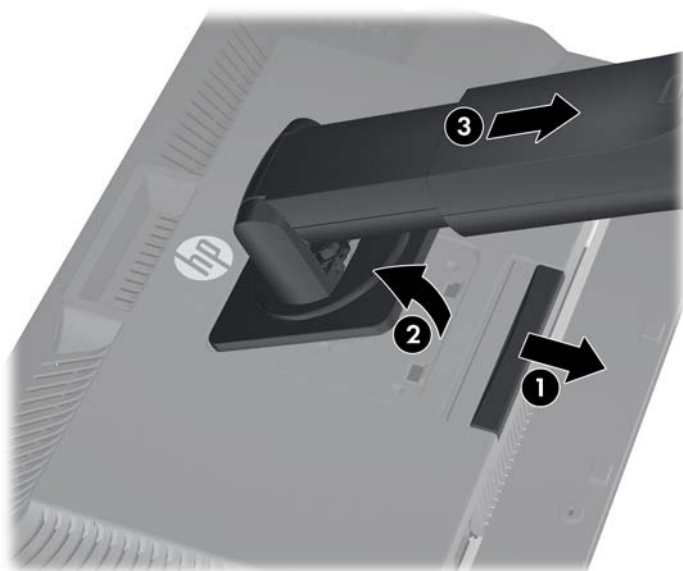
図 3-13 モニター台の取り外し

1. モニター下部の中央近くにあるラッチを押して、HP クイック リリース 2 のロックを解除します。
2. モニター台の下部を上方向に回転させ、マウント プレートに隠れていたパネルのくぼみが完全に見えるようにします。
3. モニター台をスライドさせて、くぼみから取り外します。
4. マウント プレートをモニター台の先端部に固定している 4 つのネジを取り外します。

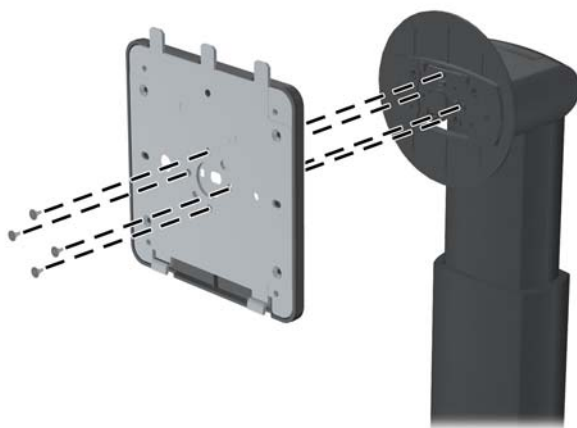
   図 3-14 マウント プレートのモニター台からの取り外し

5. 4 つのネジを取り外して、マウント プレートをカバーから取り外します。

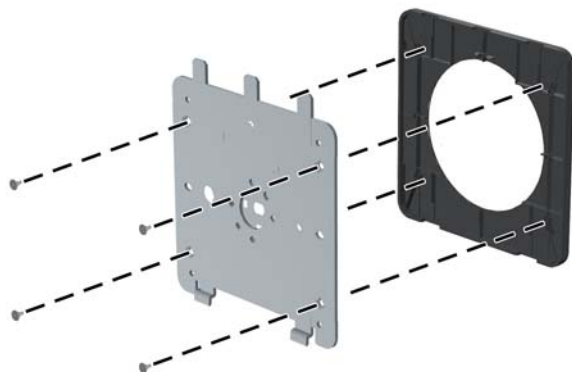
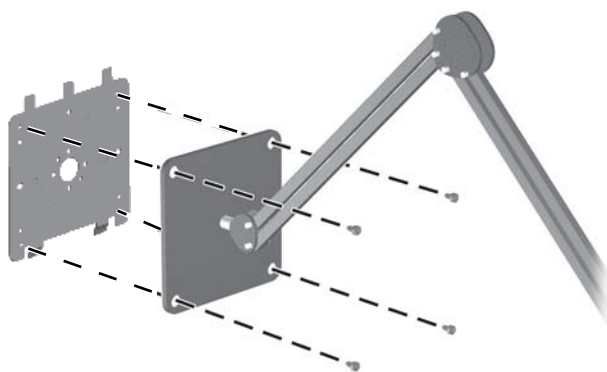
図 3-15 カバーのマウント プレートからの取り外し

6. マウント プレートを、所定の壁またはスイング アームに取り付けます。

図 3-16 マウント プレートの取り付け

⚠ **注意：** このモニターは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

7. 壁またはスイング アーム等に取り付けたマウント プレートにモニター パネル背面のくぼみの位置をそろえ、プレートの上部からモニターを差し込んで、しっかりと固定されるように押し込みます。モニターが安全に固定されると、モニターのリリース ラッチが飛び出します。

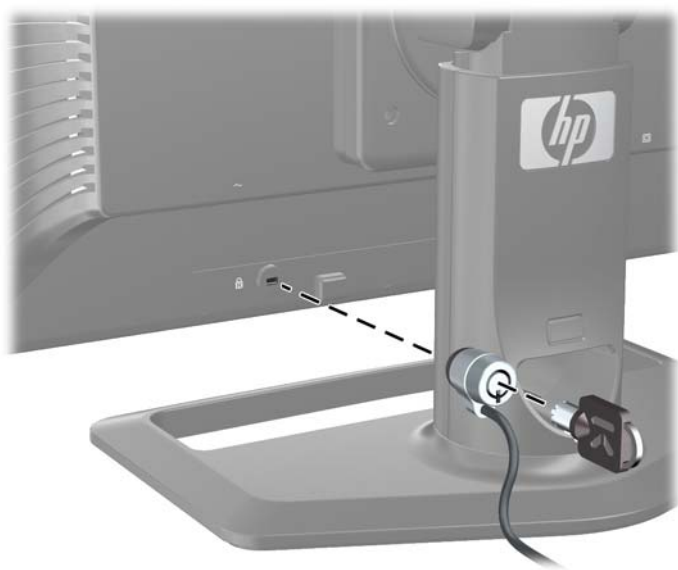
情報カード（一部のモデルのみ）の位置

図 3-17 引き出し式情報カード

ZR2240w、ZR2440w、および ZR2740w モデルには、HP のサポート窓口に問い合わせるときに必要となる情報が記載されたカードが搭載されています。このカードは、パネルの左側面にある USB コネクタの裏側から引き出します。

ロック ケーブルの取り付け

別売のロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。

図 3-18 ロック ケーブルの取り付け

モニターの電源投入

1. モニター（のリア パネル）に主電源スイッチがある場合は、スイッチをオンの位置（I）にします。
2. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
3. モニターのフロント パネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。

注意： モニターに長時間同じ静止画像を表示したままにしておくと（使用されていない状態が 12 時間連続すると）、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーン セーバー アプリケーションまたはスリープ タイマーを有効にしておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

画面にステータス メッセージまたは画像が表示されることがあります。フロント パネルのランプは青色に点灯します。モニターが入力を受信していない場合、モニターはすぐに省電力モードになり、ランプがオレンジ色に点灯します。

ソフトウェアおよびユーティリティのインストール

モニターには、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録された CD が付属しています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル
- 自動調整用パターン ユーティリティおよびそのドキュメンテーション ファイル
- [HP Display Assistant]およびそのユーザー ガイド
- モニター ドライバーおよびその Readme ファイル
- PDF ファイルを表示するための[PDF Complete]ユーティリティ
- モニター モデルごとのその他のソフトウェア

注記： プラグ アンド プレイの自動インストールで要件が満たされる場合は、これらのファイルを使用する必要がないこともあります。

ZR2040w、ZR2240w、または ZR2440w モデルでモニターを縦向きに設定した場合は、[HP Display Assistant]を CD からインストールし、[HP Display Assistant]を使用して画像を縦向きモードに回転させる必要があります。[HP Display Assistant]について詳しくは、42 ページの「[HP Display Assistant]ユーティリティの使用」および CD に収録されている『HP Display Assistant ユーザ ガイド』を参照してください。

[PDF Complete]をインストールすると、CD に収録されている PDF ファイルを閲覧できます。[PDF Complete]は、PDF ドキュメントを作成できる HP 製品の機能限定無料版です。

注記： モニターに CD が付属していない場合は、.INF ファイル、.ICM ファイル、およびドライバー ファイルを HP のモニターのサポート Web サイトからダウンロードできます。この章の27 ページの「インターネットからのダウンロード」を参照してください。

情報ファイル

.INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックス アダプターとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティング システムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Microsoft Windows プラグ アンド プレイ機能に対応しており、.INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックス カードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックス カードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファー/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

.ICM ファイルはグラフィックス プログラムとともに使用されるデータ ファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。これらのファイルは、この機能をサポートするグラフィックス プログラムの実行時に有効になります。

注記： .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

.INF および.ICM ファイルのインストール

.INF ファイル、.ICM ファイル、またはドライバー ファイルが必要な場合は、CD からインストールするか、インターネットからダウンロードできます。

CD からのインストール

CD からファイルをインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD をコンピューターの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
2. [**Monitor Driver Software Readme**]（モニター ドライバー ソフトウェアの Readme）ファイルを読みます。
3. [**Install Monitor Driver Software**]（モニター ドライバー ソフトウェアをインストールする）を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュ レートが表示されていることを確認します。

注記： インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニターの.INF および.ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。CD の[Monitor Driver Software Readme]ファイルを参照してください。

インターネットからのダウンロード

最新のバージョンの.INF ファイル、.ICM ファイル、またはドライバー ファイルを HP のモニターのサポート Web サイトからダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. http://www.hp.com/support/にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバー＆ソフトウェアをダウンロードする]を選択してお使いの製品名などを[製品名・番号で検索]ボックスに入力し、[>>]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

モニターの調整

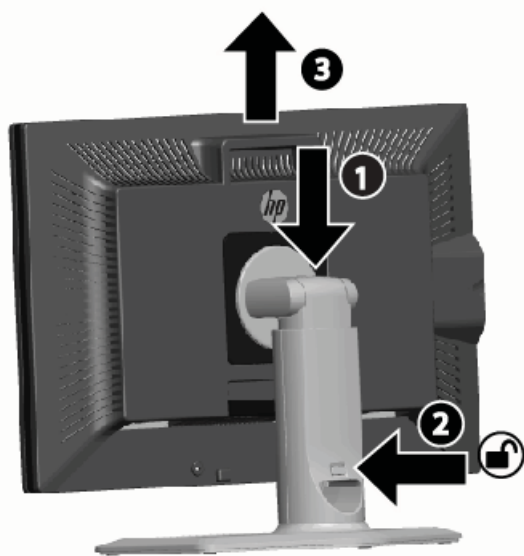
1. モニターのパネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。

図 3-19 傾斜角度の調整

2. 左右に回転できるモニターの場合、モニターを左または右に回転させて最適な表示角度に調整します。

図 3-20　表示角度の調整（一部のモデルのみ）

3. ZR2240w、ZR2440w、および ZR2740w モデルでは高さを調整できます。モニターの高さを、目と同じ高さの見やすい位置に調整します。支柱の背面にあるロックダウン/リリース ボタンは、モニター本体を持ち上げたときにモニターが上へスライドすることを防ぎます。モニター本体が最も低い高さに固定されている場合は、以下の操作を行って、高さの固定を解除して高さを調整します。

図 3-21　高さの調整（一部のモデルのみ）

a. モニターが平らで安定した台の上に安全に設置されていることを確認します。

b. モニター本体を軽く押し下げます（1）。

c. モニター本体を押し下げたまま、支柱の背面にあるロックダウン/リリース ボタンを押します（2）。

d. モニター本体を希望の高さまで持ち上げます（3）。

4. 初期設定のモニターの方向は横向きです。縦向きに変更する場合は、次のセクションにある29 ページの「縦向き」の説明に沿って操作します。

縦向き

ZR2040w は、使用する方向に取り付ける必要があります。その他のモデルは、取り付け後に回転させることができます。回転させるには、パネルを最も高い位置まで引き上げ、時計回りに回転させて横向きから縦向きにします。

図 3-22 モニターの回転（一部のモデルのみ）

注記： モニター パネルを回転させるときは、パネルの角がモニター台に接触しないように、モニター パネルを後ろに傾斜させる必要が生じる場合があります。

お使いのモデルが ZR2740w の場合、ワークステーションのビデオ ドライバーのコントロール パネルを使用して画像を回転させます（AMD グラフィックスの場合は[CATALYST Control Center]を、NVIDIA グラフィックスの場合は[NVIDIA Control Center]を起動します）。詳しくは、ワークステーションのビデオ ドライバーのオンライン ヘルプを参照してください。

その他のモデルでは、[HP Display Assistant]ソフトウェア（『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）に収録）を使用して画像を回転させます。お使いのモデルに OSD がある場合は、モニターのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押してから[OSD Cntrol]（OSD コントロール）→[Rotate OSD]（OSD の回転）の順に選択して、縦向きに変更できます。

4　モニターの操作

操作の概要

[HP Performance]モニターについてよく知らない場合は、このセクションをお読みになり、その大まかな操作方法を理解してください。そうすれば、このガイド内で目的の情報を探しやすくなります。

お使いのモニターには、複数の入力ソースが用意されています。モニターはさまざまな入力をスキャンし、アクティブな入力を見つけてその画像を表示します。ソースを手動で変更するには、フロントパネルにある SOURCE（ソース）ボタンを押します。スキャンの順序は、初期設定では DisplayPort、DVI-D、HDMI、VGA の順に設定されており、DisplayPort が初期設定のビデオ ソースとなっています。

一部のモデルでは、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでスキャンの順序および初期設定のソースを設定できます。フロント パネルにメニュー（　）ボタンがある場合は、OSD を使用できます。また、OSD を使用して、モニターがソースを切り替えないようにすることもできます。

モニターが入力を受信していない場合、モニターは省電力（スリープ）モードになり、フロント パネルのランプが青色からオレンジ色に変わります。つまり、他に入力ソースがない場合にコンピューターがスリープ モードになると、モニターはスリープ モードになります。また、フロント パネルの電源（　）ボタンを使用してモニターを省電力モードにできます。OSD を使用すると、スリープ状態の有効/無効をタイマーで切り替えたり、常にスリープ状態を無効にしたりする（推奨されません）ことができます。

お使いのモニターは、フロント パネルのランプおよび画面上のメッセージで状態を表示します。インジケーターの種類はモデルによって異なりますが、次のランプ インジケーターはどのモニターでも使用されます。

- 青色に点灯：通常の動作
- オレンジ色に点灯：省電力モード
- 青色で点滅：入力が、モニターで表示できる解像度よりも高い解像度を要求
- オレンジ色で点滅：時間が設定されたスリープ状態（つまり、モニターは省電力モードになっていますが、タイマーによって省電力モードが解除されます）
- 消灯：通常の動作または電源オフの状態

これらにインジケーターに加え、一部のモデルではこの章の後半で説明している画面メッセージも使用されます。

画質は、デジタル入力の場合には適切に制御されます。アナログ入力の場合には、ソフトウェア ユーティリティ、自動調整機能、OSD のオプションなど、画質を調整するためのさまざまなツールが用意されています。

ZR2040w モデルおよび ZR2240w モデル

これらのモニターが入力をスキャンする順序は DisplayPort が最初であるため、DisplayPort が初期設定の入力となっています。DisplayPort がアクティブでない場合、モニターは DVI-D、HDMI（ZR2240w のみ）、VGA の順序でアクティブな入力をスキャンします。現在の入力、初期設定のソース、およびスキャンの順序を変更するには、OSD を使用します。モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押すと、OSD のソース制御用サブメニューをすぐに表示できます。

図 4-1 ZR2040w および ZR2240w のフロント パネルの各部

名称			機能
1		メニュー	オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
2	—	ー（マイナス）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます OSD メニューが無効の場合、OSD での選択は工場出荷時の設定にリセットされます（ZR2040w モデルのみ）
3	+ source	＋/source（プラス/ソース）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます OSD メニューが表示されていないときに押すと、ソース ボタンが有効になりビデオ信号入力を選択できます
4	OK auto	OK/auto（OK/自動）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、強調表示されたメニュー項目が選択されます OSD メニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます

名称			機能
5	⏻	電源ボタン	モニターを省電力モードにします
6		電源ランプ	青色：電源が入っている状態 オレンジ色に点灯：スリープ モード オレンジ色で点滅：スリープ タイマー モード 消灯：電源が入っていない状態か、通常の動作状態（ランプがオフになるように設定されている場合）

ZR2440w モデル

ZR2440w の初期設定の入力は DisplayPort で、スキャン順序は DisplayPort、DVI-D、HDMI の順に初期設定されています。現在の入力、初期設定、およびスキャンの順序を変更するには、OSD を使用します。モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押すと、OSD のソース制御用サブメニューをすぐに表示できます。

図 4-2 ZR2440w のフロント パネルの各部

名称			機能
1		メニュー	オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
2	▬	ー（マイナス）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます

名称			機能
3	+source	+/source（プラス/ソース）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます OSD メニューが表示されていないときに押すと、ソース ボタンが有効になりビデオ信号入力（VGA、DVI、または DisplayPort）を選択できます
4	**OK**	OK	OSD メニューが表示されているときに押すと、強調表示されたメニュー項目が選択されます
5	⏻	電源ボタン	リア パネルにある主電源スイッチがオンになっているときに、モニターをオンまたはオフにします
6		電源ランプ	青色：電源が入っている状態 オレンジ色に点灯：スリープ モード オレンジ色で点滅：スリープ タイマー モード 消灯：電源が入っていない状態か、通常の動作状態（ランプがオフになるように設定されている場合）

ZR2740w モデル

ZR2740w モデルの場合、初期設定の入力は DisplayPort です。現在の入力を変更するには、フロント パネルにある SOURCE（ソース）ボタンを押します。

フロント ボタンを使用して、輝度を調整したり、モニターを省電力モードにしたりすることもできます。

図 4-3 ZR2740w のフロント パネルの各部

名称			機能
1	**SOURCE**（ソース）ボタン	ソース	ビデオ信号入力ソース（DisplayPort および DVI-D）を切り替えます
2	**-**	ー（マイナス）ボタン	輝度を下げます
3	**+**	＋（プラス ボタン）	輝度を上げます
4	⏻	電源ボタン	リア パネルにある主電源スイッチがオンになっているときに、モニターをオンまたはオフにします
5		電源ランプ	青色に点灯：通常の動作の最初の 30 秒間を示します オレンジ色に点灯：省電力モードを示します 青色で常時点滅：信号入力が、サポートされていないモードになっていることを示します（サポートされていないモードについては、58 ページの「ZR2740w モデルのプリセット モード」を参照してください） 輝度の調整時に青色で 3 回点滅：輝度の調整範囲の制限に達したことを示します 消灯：通常の動作または電源オフの状態を示します

＋または－ボタンを押し続けると、輝度の設定がすばやく変更されます。輝度の下限または上限に達すると、ランプが 3 回点滅します。

電源ボタン⏻を押すと、モニターが省電力モードになります（電源を完全に切るには、リア パネルのスイッチを使用します）。ビデオ信号入力がない場合にも、モニターは省電力モードになります。

モニターの電源を初めて入れると、ランプが青色に点灯し、およそ 30 秒間青色のままになります。その後、ランプは消灯します。モニターが範囲外の信号（周波数が高すぎるなど）を受信すると、ランプは青色で点滅し続けます。

このモデルでは、OSD およびオンスクリーン メッセージは使用されません。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用（一部のモデルのみ）

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでは、モニターの動作を選択できます。モデルによっては、以下のオプションの一部が使用できない場合があります。たとえば、アナログ入力のないモニターでは、アナログ画像専用のメニューは表示されません。ZR2740w では OSD を使用しません。OSD を使用するモデルでは、フロント パネルにメニュー（ ）ボタンがあります。

注記： ディスプレイの設定に問題がある場合は、OSD を開き、OSD メニューから[**Factory Reset**]（出荷時設定にリセット）を選択することによって、設定を工場出荷時の設定に戻してみてください。

OSD にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. モニターのフロント パネルにある Menu（メニュー）ボタンを押します。

   オプションのメニューおよびサブメニューが表示されます。
3. メニュー内を移動するには、モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）ボタンを押して下にスクロールします。
4. OSD メニューから項目を選択するには、＋ボタンか－ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、OK ボタンを押して機能を選択します。
5. フロント パネルの＋ボタンか－ボタンを押してスケールを調整します。
6. 機能を調整したら[Save and Return]（保存して戻る）を選択します。または、設定を保存しない場合は、[キャンセル]（キャンセル）→[Main Menu]（メイン メニュー）→[Exit]（終了）の順に選択します。**キャンセル** [Save and Return]オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。

注記： メニューが表示されているときに 30 秒（工場出荷時の初期設定）以上ボタンを押さないと、ファームウェアが現在の調整で保存されてから終了します。また、OSD が有効になっているときにビデオ コントローラーをビデオ モードに変更すると、現在の（調節された）設定が保存されないまま OSD がオフになり、新しいモードが表示されます。

OSD メニューの選択

OS のサブメニューおよびオプションを以下に示します。モデルによっては、一部のサブメニューが表示されません。たとえば、DCR（Dynamic Contrast Ratio）機能がないモニターでは、DCR オプションは表示されません。また、モデルによっては、一部のオプションの表記がここに記載されている表記と少し異なる場合があります。ただし、オプションの種類がわからなくなるほど表記が大きく異なることはありません。

表 4-1　OSD メニュー

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	輝度	調整用スケール（0～100）	画面の輝度を調整します。
	Contrast（コントラスト）	調整用スケール（0～100）	画面のコントラスト レベルを調整します。
	Color（色）		画面の色温度を選択します。工場出荷時の初期設定値は、モデルに応じて 6500 K またはカスタム カラーです
		Warm (5000K)（暖色（5000K））	わずかに赤味を帯びた白色へと、色を変更します
		Standard (6500K)（標準（6500K））	標準の色を使用します（初期設定）
		Cool (9300K)（寒色（9300K））	わずかに青味を帯びた白色へと、色を変更します
		Custom (RGB)（カスタム（RGB））	カラー スケールを選択および調整します • Red Color（赤色）：赤色のレベルを設定します • Green Color（緑色）：緑色のレベルを設定します • Blue Color（青色）：青色のレベルを設定します
		Color Tint（色合い）	調整用スケール（0～100）で全体的な色合いを変更します（赤色、緑色、または青色を強調します）
	Image Control（イメージ コントロール）		画像を調整します（VGA 入力のみ）
		Auto Adjustment（自動調整）	画像を自動的に調節します（VGA 入力のみ）
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock]を調整することで、画像の水平表示も変更されます
		Clock Phase（クロックフェーズ）	画面の焦点を調整します。これによって、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します

表 4-1　OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します
		Custom Scaling（カスタム スケール）	モニターへの情報の表示方法を選択します。以下のどちらかを選択します ● Fill to Screen（スクリーンに合わせる）：画像が画面全体を占め、高さと幅が不均等なため歪んだり引き伸ばしたように見えたりします ● Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる）：画像が画面に合うように調整されて、均等な画像表示を維持します ● Fill to 16:9 Aspect Ratio（16：9 の縦横比に合わせる） ● Fill to 4:3 Aspect Ratio（4：3 の縦横比に合わせる） ● Overscan（オーバースキャン）：画像の周囲 5% 程度が画面からはみ出すくらいの大きさに画像を拡大します。Overscan は、DVI-D、HDMI、および DisplayPort 入力で使用できます。このオプションでは以下の設定ができます ◦ Off（オフ） ◦ On（オン） ◦ Auto（自動）：HDMI 入力の一部として送信される情報によってスケールが決定されます
		Sharpness（シャープネス）	画面の画像をより鮮明にまたはよりソフトに調整します
		Video OverDrive（ビデオ オーバードライブ）	動画を表示する場合にパネルの応答時間を改善するオーバー ドライブ機能のオン/オフを切り替えます。初期設定はオフです
		Dynamic Contrast Ratio（ダイナミック コントラスト比）	このオプションをオンにすると、画像の変更に合わせてモニターがコントラストを動的に調整できるようになります。工場出荷時の初期設定はオフです
	OSD Cntrol（OSD コントロール）		OSD コントロールの表示位置を調整できます
		Horizontal OSD Position（水平 OSD 表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。
		Vertical OSD Position（垂直 OSD 表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。
		OSD Transparency（OSD 透明度）	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します

表 4-1　OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
		OSD Timeout（OSD タイムアウト）	ボタンを押してから OSD が表示され続ける時間の長さを秒単位で設定します。この範囲は 5～60 秒です。工場出荷時の初期値は 30 秒です
		Rotate OSD（OSD の回転）	モニターのピボット機能をサポートするために、OSD メニューとメッセージを回転します。[Landscape]（横向き）または[Portrait]（縦向き）から選択します
	Management（管理）		OSD を選択し、モニターの電源管理機能を調整します
		Power Saver（省電力）	省電力機能を有効にします。以下のどちらかを選択します • On • Off 工場出荷時の初期設定はオンです
		Power On Recall（再開時に電源オン）	予期せず電源がオフになった後にモニターへの電力を復旧します。以下のどちらかを選択します • On • Off 工場出荷時の初期設定はオンです
		Mode Display（モード表示）	OSD メイン メニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュ レートおよび周波数の情報を画面に表示します。以下のどちらかを選択します • On • Off 工場出荷時の初期設定はオンです
		Monitor Status（モニター ステータス）	モニターの電源がオンになるたびに、モニターの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を以下の中から選択します • Top（上） • Middle（中） • Bottom（下） • Off 工場出荷時の初期設定は上です

表 4-1 OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
DDC		DDC/CI Support（DDC/CI サポート）	コンピューターで、輝度、コントラスト、色温度などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。以下のどちらかを選択します • On • Off 工場出荷時の初期設定はオンです
LED		Bezel Power LED（ベゼルの電源ランプ）	モニターのフロント パネルにある電源ランプをオフにします。工場出荷時の初期設定はオンです
		Sleep Timer（スリープ タイマー）	タイマー調整のメニュー オプションを表示します • Set Current Time（現在の時刻の設定）：時間および分単位で現在の時刻を設定します • Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）：モニターがスリープ モードに入る時刻を設定します • Set on Time（電源オンの時刻の設定）：スリープ モードから復帰する時刻を設定します • Timer（タイマー）：スリープ タイマー機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです • Sleep Now（スリープ モードの実行）：直ちにモニターがスリープ モードに入るように設定します
	Language（言語）		OSD メニューを表示する言語を選択します工場出荷時の初期設定言語は英語です
	Information（情報）		モニターに関する重要な情報を選択/表示します
		Current Settings（現在の設定）	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings（推奨設定）	お使いのモニターに推奨される解像度モードおよびリフレッシュ レートを表示します
		Serial Number（シリアル番号）	モニターのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカル サポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		FW Version（ファームウェア バージョン）	ドライバー（ファームウェア）のバージョンを表示します
		Backlight Hours（バックライト動作時間）	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support（サービス サポート）	http://www.hp.com/support/

表 4-1 OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		すべての OSD メニュー設定および DDC/CI サポートの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。ただし、言語設定は除きます
	Source Control（ソース コントロール）		ビデオ入力信号を選択します。初期設定は、DisplayPort、DVI-D、HDMI、VGA の順序で調べて最初に見つかったアクティブな入力です
		DisplayPort	ビデオ入力信号として DisplayPort を選択します
		DVI	ビデオ入力信号として DVI-D を選択します
		HDMI	ビデオ入力信号として HDMI を選択します
		VGA	ビデオ入力信号として VGA を選択します
		Default Source（初期設定のソース）	モニターが 2 つの有効なビデオ ソースに接続されている場合に、初期設定または最優先されるビデオ入力信号を選択します。ビデオ方式は自動的に判断されます。以下のどちらかを選択します ● DisplayPort ● DVI-D ● HDMI ● VGA 工場出荷時の初期設定は、DisplayPort、DVI-D、HDMI、VGA の順序で調べて最初に見つかったアクティブな入力です
		Auto-Switch Source（ソース自動切り換え）	現在の入力がアクティブではない場合、モニターが他のアクティブな入力に自動的に切り替わらないようにします。Auto-Switch Source を Off にすると、モニターは他のアクティブな入力をスキャンしないで暗くなります
		Source Detection（ソース検出）	DisplayPort 入力が選択されている場合に、このオプションが OSD に表示されます。Source Detection の状態を以下のように設定できます。 ● Always Active（常に有効） ● Low Power（省電力） 工場出荷時の初期設定は、Low Power です
	Exit（終了）		OSD メニュー画面を終了します

画面メッセージ

OSD を使用するモデルは、情報を通知するために画面メッセージも使用します。

- **[Monitor Status]**：モニターの電源が入るか、入力ソースが変更されると、モニター ステータス メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブな入力、ソース自動切り換え設定のステータス（オンまたはオフ）、および初期設定のソースが示されます。現在のモードがプリセットである場合は、メッセージには現在の解像度およびリフレッシュ レートが示され、プリセットでない場合は、水平周波数と垂直周波数、および推奨解像度が示されます。赤色、緑色、および青色のブロックは、この 3 つの色が機能していることを示します。
- **[Scanning Inputs]**：モニターがアクティブな入力を探していることを示します。
- **[Input Signal Out of Range – Change resolution setting to...]**：解像度およびリフレッシュ レートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターが入力信号をサポートできないことを示します。
- **[No Source Signal]、[No Input Signal]**：アクティブな入力がない場合、モニターは省電力モードになります。ただし、省電力モードが無効な場合、モニターは[No Source Signal]または[No Input Signal]メッセージを表示します。
- **[Auto Adjustment in Progress]**：自動調整機能が作動中であることを示します。
- **[Monitor Going to Sleep]**：モニターが省電力モードになることを示します。
- **[Check Video Cable]**：ビデオ ケーブルが接続されていないか、正しく接続されていない入力を選択しようとした場合に表示されます。
- **[OSD Lockout]**：フロント パネルにある Menu（メニュー）ボタンを 10 秒程度押し続けると、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を有効または無効にできます。Menu ボタンを押しているときに OSD がロックされていると、**[OSD Lockout]** という警告メッセージが 10 秒間表示されます。
    - OSD がロックされている場合、ロックを解除するには Menu ボタンを 10 秒間押し続けます。
    - OSD のロックが解除されている場合、ロックするには Menu ボタンを 10 秒間押し続けます。
- **電源ボタン ロックアウト**：モニターのフロント パネルにある電源ボタンがロックされていることを示します
    - 電源ボタンがロックされている場合、ロックを解除するには電源ボタンを 10 秒間押し続けます。
    - 電源ボタンのロックが解除されている場合、ロックするには電源ボタンを 10 秒間押し続けます。
- **[Dynamic Contrast Ratio On]**：ダイナミック コントラスト比がオンになっていることを示します。OSD メニューの[Image Control]（イメージ コントロール）でダイナミック コントラスト比がオンになっているときに表示されます。

- **[Dynamic Contrast Ratio Off]**：ダイナミック コントラスト比がオフになっていることを示します。OSD メニューの[Image Control]でダイナミック コントラスト比がオフになっているときに表示されます。
- **[Theft Mode Enabled]**：盗難防止モードが有効になっていることを示します。盗難防止は、[HP Display Assistant]で設定できるオプションの機能です。盗難防止モードは、電源ケーブルおよびディスプレイ ケーブルの両方がモニターから取り外されてから、モニターが別のコンピューターに再接続され、盗難防止の PIN 番号が一定時間内に入力されなかった場合に有効になります。モニターが盗難防止モードのときは、電源ボタン以外のすべてのフロント パネル ボタンが無効になります。

モニターの設定の調整

コンピューターのソフトウェアを使用して、スリープ タイマー、解像度、色温度などのパラメーターを設定できます。一部のモデルのモニターでは、モニターでの設定がコンピューターの設定より優先されます。以下は、一部のオプションについての説明です。

[HP Display Assistant]ユーティリティの使用

HP Display Assistant は『Software and Documentation CD』に収録されているソフトウェア ユーティリティで、わかりやすい操作手順およびモニターの調整機能ごとの画面パターンによって、設定の調整を可能にします。ZR2040w、ZR2240w、および ZR2440 モデルは[HP Display Assistant]をサポートしています。

[HP Display Assistant]では、以下の機能が使用できます。

- 操作手順のウィザードを使用した正確な画面調整（画質を全体的に最適な状態にします）
- ソフトウェアによるモニター画像および色の設定（モニターのフロント パネルのボタンとオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでの設定に依存する必要がなくなります）
- マルチユーザー環境でのユーザー別に定義済みの、プリセット ディスプレイ設定
- 表示内容および周辺光に基づいた、シングル ユーザー向けの複数のプリセット ディスプレイ設定
- 資産管理および電源管理の機能（中央コンソール アプリケーションによる、ドメイン上の個々のディスプレイまたは複数のディスプレイのリモート制御を含みます）

HP Display Assistant ユーティリティには 2 つの操作モード（ウィザード モードおよび OSD モード）があります。手順に沿った操作で正確な画面調整を行える、ウィザード モードの使用をおすすめします。この操作モードは一連の手順で構成されており、画面が最適な状態に設定されます。

注記： このソフトウェアについて詳しくは、[HP Display Assistant]の説明書を参照してください。

ユーザー モードの使用

ディスプレイ モードは、解像度、水平周波数、および垂直周波数の設定の組み合わせです。モニターにはプリセット モードがあり、モニターは受信した入力に応じてモードを選択します。詳しくは、付録 B（51 ページの「技術仕様」）を参照してください。ユーザーが自分で設定を変更すると、モニターはその新しいモードも保存および認識します。標準のグラフィックス アダプターを使用していない場合、ビデオ コントローラーから送られてくる信号がそのモードと一致しないことがあります。解像度または周波数を変更するには、コンピューターのオペレーティング システムによって提供されているディスプレイ設定を探してください。

自動調整機能の使用

アナログ入力があるモニターの場合、モニターの OK/auto（OK/自動）ボタンおよび付属の CD に収録されている自動調整用パターン ソフトウェア ユーティリティを使用して、VGA の画面の画質を最適化します。

お使いのモニターが DVI または DisplayPort 入力対応の場合は、この手順を行わないでください。モニター側でこれらの入力に合わせた調整が行われます。画像ソースが VGA（アナログ）の場合は、この操作を行うことで以下の状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォーム アップ時間をとります。
2. モニターのフロント パネルにある OK/auto ボタンを押します。
   - Menu ボタンを押して、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メイン メニューから[Image Control]（イメージ コントロール）→[Auto-Adjustment]（自動調整）の順に選択することもできます。 35 ページの「オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用（一部のモデルのみ）」を参照してください。
   - 期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。
3. CD をディスク ドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
4. [Open Auto-Adjustment Software]（自動調整ソフトウェアを開く）を選択します。 セットアップのためのテスト パターンが表示されます。
5. モニターのフロント パネルにある OK/auto ボタンを押すと、安定した画像が画面の中央に表示されます。
6. Esc キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テスト パターンを終了します。

手動での画質の最適化

OSD メニューの[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。

注記： [Clock]および[Clock Phase]機能はアナログ入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- **[Clock]** ：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Clock Phase]** ：画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

注記： これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェア ユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]および[Clock Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSD メニューの[Factory Reset]（出荷時設定にリセット）から **Yes**（はい）を選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

1. モニターのフロント パネルの Menu ボタンを押して[OSD Menu]（OSD メニュー）を表示し、[Image Control]（イメージ コントロール）→[Clock]の順に選択します。
2. モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンまたは－（マイナス）ボタンを押して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。

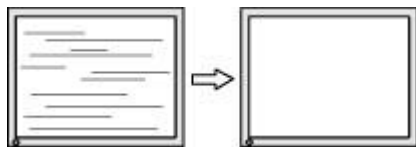
   図 4-4 クロックの調整

3. クロックを調整しても画面にかすみ、ちらつき、線などが表示される場合は、続いてクロック フェーズを調整します。

ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（クロック フェーズ）。

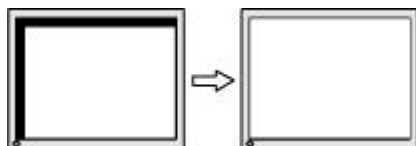
1. モニターのフロント パネルの Menu ボタンを押して[OSD Menu]を表示し、[Image Control]→[Clock Phase]の順に選択します。

2. モニターのフロント パネルにある+ボタンまたは−ボタンを押して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックス コントローラー カードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。

図 4-5 クロック フェーズの調整

画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. モニターのフロント パネルの Menu ボタンを押して[OSD Menu]を表示し、[Image Control]→[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）の順に選択します。

2. モニターのフロント パネルにある+ボタンまたは−ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。[Horizontal Position]では画像を左右に移動し、[Vertical Position]では画像を上下に移動します。

図 4-6 画面の位置の調整

スリープ タイマー モード

コンピューターを未使用時にスリープ モードになるように設定すると、モニターもスリープ モードになります（省電力モードが無効になっている場合を除く）。また、一部のモニターはスリープ タイマーをサポートしています。スリープ タイマーは、1 日のうちでモニターの省電力モードを有効/無効にする時間を設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニターのバックライトの寿命を延ばすことができます。スリープ タイマーは OSD で設定し､OSD を使用するモデルで利用できます。

注記： スリープ タイマーは、毎日休みなくモニターのオフ/オンを切り替えます。

スリープ タイマー モードには 5 つの設定があります。

- Set Current Time（現在の時刻の設定）
- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer:オン/オフ
- Sleep Now（スリープ モードの実行）

タイマーを設定するには、以下の操作を行います。

1. モニターのフロント パネルの Menu（メニュー）ボタンを押して[OSD Menu]（OSD メニュー）を表示します。
2. メニューを下に移動して[Management]（マネジメント）を強調表示します。
3. OK ボタンを押して[Management]を選択します。
4. メニューを下に移動し、[Sleep Timer]（スリープ タイマー）→[Set Current Time]の順に強調表示して選択します。

   注記： 必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから[Sleep Time]（電源オフの時刻）や[ON Time]（電源オンの時刻）を設定してください。 時刻は 24 時間単位で表示されます。たとえば、午後 1 時 15 分は 13 時 15 分と表示されます。

   電源の障害が発生するか、またはモニターへの電力供給が遮断されると、タイマーが 00:00 にリセットされます。その場合は、スリープ タイマー モードをリセットする必要があります。
5. OK ボタンを一度押すと調整モードとなり、時間が点滅します。
6. －（マイナス）ボタンおよび＋（プラス）ボタンを使用して時間を設定します。
7. OK ボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. －ボタンおよび＋ボタンを使用して分を設定します。
9. OK ボタンを押すと、設定した時刻が確定します。
10. 現在時刻を設定すると､自動的に[Set Sleep Time]へ移動し､時間が強調表示されて点滅します。手順 6～9 を繰り返し行って、モニターを省電力モードにする時刻を設定します。
11. [Sleep Time]を設定しない場合は、OK ボタンを 2 回押してから、[Save and Return]を選択してメニューを終了します。

12. [Sleep Time]の設定が完了すると、自動的に[Set On Time]へ移動し、時間が強調表示されて点滅します。 手順 6～9 を繰り返し行って、モニターの省電力モードを解除する時刻を設定します。

13. [Timer]（タイマー）のモードを[ON]（オン）に設定し、[Sleep Timer]の設定を起動します。

14. 設定が完了したら、[Save and Return]を選択してメニューを終了します。

5 番目の項目、**[Sleep Now]**（スリープ モードの実行）を選択すると、モニターのバックライトがオフになり、スリープ モードになります。**[On Time]**（オンタイマー）の時刻になるか、またはモニター ボタンを押すと、電源がオンになります。

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

表 A-1 一般的なトラブル

トラブル	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターのリア パネルにある主電源スイッチがオフになっている	主電源スイッチをオンの位置（I）に設定し、フロント パネルの電源ボタンを押します
	モニターのフロント パネルにある電源ボタンがオフになっている	モニターのリア パネルの主電源スイッチがオン（I）の位置に設定されていることを確認します。フロント パネルの電源ボタンを押します **注記：** 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは8 ページの「モニターのセットアップ」を参照してください
	誤ったビデオ ケーブルが使用されている	モニターに付属のビデオ ケーブルを使用していることを確認します
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
画面に何も表示されず、ランプが青色で点滅する	入力信号が、サポートされていないディスプレイ モードを必要としている	56 ページの「プリセット ディスプレイ解像度」の表で、お使いのモデルのプリセットのディスプレイ モードを確認します
モニターの画像が歪んでいる、文字がぼやけて不鮮明になっている、画質が低下している	コンピューターのグラフィックス カードの解像度が、モニターの推奨解像度よりも高くまたは低く設定されている	最高の画質を得るには、コンピューターのディスプレイ解像度をモニターで推奨されている解像度と同じモードに設定します
モニターの画像が歪み、形が正しくないように見える	高さと幅が不均等に設定されている	OSD のスケール オプション（ ）を[Fill to Aspect Ratio]（縦横比に合わせる）に設定します
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	輝度を上げます。コントラストを上げるか、DCR（Dynamic Contrast Ratio）をオフにします

表 A-1　一般的なトラブル（続き）

トラブル	考えられる原因	解決方法
画像が中央に表示されない	位置を調整する必要がある	Menu（メニュー）ボタンを押して OSD メニューにアクセスします。[Image Control]（イメージ コントロール）の[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
画面に[Check Video Cable]というメッセージが表示される	モニターのビデオ ケーブルが外れているか、緩んでいる	適切なビデオ ケーブル（DisplayPort、DVI-D、HDMI、または VGA）で、コンピューターとモニターを接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
画面に[Input Signal Out of Range...]というメッセージが表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピューターを再起動し、セーフ モードにします（Windows システムでは、起動中に[F8]キーを押し続けます）。設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは56 ページの「プリセット ディスプレイ解像度」を参照してください。コンピューターを再起動し、新しい設定値を有効にします
モニターの電源は切れるが、省電力スリープ モードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	モニターの OSD メニューで、**[Management]**（マネジメント）→**[Power Saver]**（省電力）の順に選択します。モニターを省電力モードに移行するには、この機能が**[On]**（オン）に設定されている必要があります
画面に[OSD Lockout]というメッセージが表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	Menu（メニュー）ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD 機能のロックを解除します
[電源ボタン ロックアウト] というメッセージが表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

オンライン技術サポート

テクニカル サポート情報、ユーザー自身によるトラブル解決に役立つツール、オンライン サポート、コミュニティ フォーラムや IT 専門家、マルチ ベンダーによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートも利用できます。テクニカル サポートをご利用になる際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号およびシリアル番号（モニターに引き出し式の情報カードがある場合、これらの番号はそのカードに記載されています）
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

B 技術仕様

注記： すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HP のコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

ZR2040w モデル

ディスプレイ 種類	50.8 cm（対角方向） TFT LCD	20 インチ（対角方向）
表示可能画像サイズ	44.3×24.9 cm	17.4×9.8 インチ
傾斜角度	-5～25°	
最大質量（非梱包時）	3.8 kg	8.4 ポンド
寸法（モニター台を含む） 高さ 奥行き 幅	 35.9 cm 15.1 cm 48.2 cm	 14.1 インチ 5.9 インチ 19.0 インチ
最大グラフィックス解像度	1600×900（60 Hz）	
最適グラフィックス解像度	1600×900（60 Hz）	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.276（横）×0.276（縦）mm	
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	92	
水平周波数	83 kHz	
垂直周波数	60 Hz	
環境条件 動作保証温度： 動作時 保管時	 5～35° C -20～60° C	 41～95° F -4～140° F
相対湿度 オペレーティング 保管時	 20～80% 5～95%	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	

動作保証高度： オペレーティング 保管時	 0～5,000 m 0～12,192 m	 0～16,400 フィート 0～40,000 フィート
消費電力（最大） 省電力モード	33 W 0.3 W	
入力端子	DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル付属）、VGA コネクタ×1（ケーブル付属）	

ZR2240w モデル

表 B-1 ZR2240w の仕様

ディスプレイ 種類	54.7 cm（対角方向） TFT LCD	21.5 インチ（対角方向）
表示可能画像サイズ	47.7×26.9 cm	18.8×10.6 インチ
傾斜角度調整の範囲	-5～35°	
回転角度調整の範囲	-45～45°	
最大質量（非梱包時）	7.9 kg	17.4 ポンド
寸法（モニター台を含む） 高さ（最も高い位置のとき） 高さ（最も低い位置のとき） 奥行き 幅	 45.7 cm 36.7 cm 23.4 cm 50.7 cm	 18 インチ 14.5 インチ 9.2 インチ 20.0 インチ
最大グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）アナログ入力 1920×1080（60 Hz）デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）アナログ入力 1920×1080（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.2475 mm	0.0097 インチ
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	102	
水平周波数	24～83 kHz	
垂直周波数	50～76 Hz	

表 B-1　ZR2240w の仕様（続き）

環境条件 動作保証温度：		
動作時	5～35° C	41～95° F
保管時	-20～60° C	-4～140° F
相対湿度		
オペレーティング	20～80%	
保管時	5～95%	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
オペレーティング	0～5,000 m	0～16,400 フィート
保管時	0～12,192 m	0～40,000 フィート
消費電力（最大）	46 W	
省電力モード	0.3 W	
入力端子	VGA コネクタ×1（ケーブル付属）、DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、HDMI コネクタ×1、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル付属）	

ZR2440w モデル

ディスプレイ	61.1 cm（対角方向）	24.1 インチ（対角方向）
種類	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	51.8×32.4 cm	20.4×12.8 インチ
傾斜角度	-5～35°	
回転角度	-45～45°	
最大質量（非梱包時）	8.5 kg	18.9 ポンド
寸法（モニター台を含む）		
高さ（最も高い位置のとき）	53.4 cm	21 インチ
高さ（最も低い位置のとき）	43.4 cm	17.1 インチ
奥行き	23.5 cm	9.3 インチ
幅	56.2 cm	22.1 インチ
最大グラフィックス解像度	1920×1200（60 Hz）	
最適グラフィックス解像度	1920×1200（60 Hz）	
テキスト モード	720×400	

ドット ピッチ	0.2708（横）×0.2713（縦）mm	
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	94	
水平周波数	24～80 kHz	
垂直周波数	24～60 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	5～35° C	41～95° F
保管時	-20～60° C	-4～140° F
相対湿度		
オペレーティング	20～80%	
保管時	5～95%	
電源	100～240VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
オペレーティング	0～5,000 m	0～16,400 フィート
保管時	0～12,192 m	0～40,000 フィート
消費電力（最大）	36.8 W	
省電力モード	0.3 W	
入力端子	DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル付属）、HDMI コネクタ×1	

ZR2740w モデル

ディスプレイ	68.7 cm（対角方向）	27 インチ（対角方向）
種類	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	59.9×33.8 cm	23.6×13.3 インチ
傾斜角度	-5～30°	
回転角度	-45～45°	
最大質量（非梱包時）	10.3 kg	22.9 ポンド
寸法（モニター台を含む）		
高さ（最も高い位置のとき）	54.0 cm	21.3 インチ
高さ（最も低い位置のとき）	44.0 cm	17.3 インチ
奥行き	23.5 cm	9.3 インチ
幅	64.6 cm	25.4 インチ

最大グラフィックス解像度	2560×1440（60 Hz）	
最適グラフィックス解像度	2560×1440（60 Hz）	
ドット ピッチ	0.2339（横）×0.2345（縦）mm	
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	108	
水平周波数	31.5～100 kHz	
垂直周波数	60 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	5～35° C	41～95° F
保管時	-20～60° C	-4～140° F
相対湿度		
オペレーティング	20～80%	
保管時	5～95%	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
オペレーティング	0～5,000 m	0～16,400 フィート
保管時	0～12,192 m	0～40,000 フィート
消費電力（最大）	75 W	
省電力モード	1 W	
入力端子	DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル付属）	

プリセット ディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのディスプレイで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

ZR2040w モデルのプリセット モード

プリセット	解像度（ピクセル）	水平周波数（kHz）	リフレッシュ レート（Hz）
1	640×480	31.469	59.94
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	48.363	60.004
5	1280×720	45	59.94
6	1280×1024	63.981	60.02
7	1440×900	55.935	59.887
8	1600×900	60	60

表 B-2 ZR2040w の高解像度ビデオ フォーマット

プリセット	タイミング名	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（kHz）	ピクセル レート（MHz）	OSD 表示
1	480p	720×480	31.469	60	27	480p
2	720p60	1280×720	45	60	74.25	720p-60 Hz
3	576p	720×576	31.25	50	27	576p
4	720p50	1280×720	37.5	50	74.25	720p-50 Hz

ZR2240w モデルのプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.469	59.940
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	48.363	60.004

5	1280×720	45.00	59.94
6	1280×1024	63.981	60.020
7	1440×900	55.935	59.887
8	1600×900	60.0	60.0
9	1680×1050	65.290	59.954
10	1920×1080	67.5	60.00

表 B-3 ZR2240w の高解像度ビデオ フォーマット

プリセット	タイミング名	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（kHz）	ピクセル レート（MHz）	OSD 表示
1	480i	720×480	15.734	60	13.5	480i
2	480p	720×480	31.469	60	27	480p
3	720p60	1280×720	45	60	74.25	720p-60 Hz
4	1080i60	1920×1080	33.75	60	74.25	1080i-60 Hz
5	576i	720×576	15.625	50	13.5	576i
6	576p	720×576	31.25	50	27	576p
7	720p50	1280×720	37.5	50	74.25	720p-50 Hz
8	1080i50	1920×1080	28.125	50	74.25	1080i-50 Hz
9	1080p60	1920×1080	67.5	60	148.5	1080p-60 Hz
10	1080p50	1920×1080	56.25	50	148.5	1080p-50 Hz

ZR2440w モデルのプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.469	59.940
2	720×400	31.469	70.087
3	800×600	37.879	60.317
4	720×480	31.469	59.940
5	1024×768	48.363	60.004

表 B-4 ZR2440w の高解像度ビデオ フォーマット

プリセット	タイミング名	縦横比	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	ピクセル レート（MHz）	CEA VIC	OSD 表示
1a	480i60	4:3	720×480	15.734	60	13.5	6	480i-60 Hz
1b	480i60	16:9	720×480	15.734	60	13.5	7	480i-60 Hz
2a	480p60	4:3	720×480	31.469	60	27	2	480p-60 Hz
2b	480p60	16:9	720×480	31.469	60	27	3	480p-60 Hz
3	720p60		1280×720	45	60	74.25		720p-60 Hz
4	1080i60		1920×1080	33.75	60	74.25		1080i-60 Hz
5a	576i50	4:3	720×576	15.625	50	13.5	21	576i-50 Hz
5b	576i50	16:9	720×576	15.625	50	13.5	22	576i-50 Hz
6a	576p50	4:3	720×576	31.25	50	27	17	576p-50 Hz
6b	576p50	16:9	720×576	31.25	50	27	18	576p-50 Hz
7	720p50		1280×720	37.5	50	74.25		720p-50 Hz
8	1080i50		1920×1080	28.125	50	74.25		1080i-50 Hz
9	1080p60		1920×1080	67.5	60	148.5		1080p-60 Hz
10	1080p50		1920×1080	56.25	50	148.5		1080p-50 Hz
11	1080p23.976		1920×1080	27.0	24	74.250	32	1080p-24 Hz
12	1080p24		1920×1080	27.0	24	74.250	32	1080p-24 Hz
13	1080p25		1920×1080	28.125	25	74.250	33	1080p-25 Hz
14	1080p29.97		1920×1080	33.750	30	74.250	34	1080p-30 Hz

ZR2740w モデルのプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.468	59.9
2	1280×720	44.771	59.8
3	2560×1400	88.786	59.9

エナジー セーブ機能

お使いのモニターには、通常の動作モードに加え、使用電力が 5 W 未満になる省電力モード（スリープ モード）があります。省電力モードは、信号入力があると解除されます。入力の受信を停止するとモニターは自動的にスリープ モードになるため、コンピューターをタイマーで作動させることで、モニターをタイマーで作動させることができます。一部のモデルには独自のスリープ タイマーもあります（46 ページの「スリープ タイマー モード」を参照してください）。フロント パネルにある電源ランプは、モニターの状態を示します。最大電力のときは青色に点灯、スリープ モードのときはオレンジ色に点灯、スリープ タイマーのときはオレンジ色で点滅します。

C　規定に関するご注意

Federal Communications Commission Notice（米国向け）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo（米国向け）

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice（カナダ向け）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien（カナダ向け）

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice（欧州連合向け）

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC, where applicable

CE compliance of this product is valid if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family and available (in English only) either within the product documentation or at the following web site:www.hp.eu/certificates (type the product number in the search field).

The compliance is indicated by one of the following conformity markings placed on the product:

For non-telecommunications products and for EU harmonized telecommunications products, such as Bluetooth® within power class below 10mW.	For EU non-harmonized telecommunications products (If applicable, a 4-digit notified body number is inserted between CE and !).

Please refer to the regulatory label provided on the product. The point of contact for regulatory matters is:

Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS: HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

German Ergonomics Notice（ドイツ向け）

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

日本向け

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

Korean Notice（韓国向け）

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.8 mm^2/18 AWG 以上、長さは 1.8～3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニターは 100～120 V または 200～240 V の AC 電圧で動作します。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

日本国内では、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

⚠ **注意：** 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

国際エネルギー スター プログラムへの準拠

当社は、国際エネルギー スター プログラムの事業参加者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していることを保証するために、EPA の拡張された製品準拠および認定プロセスに従っています。

以下のマークは正規のエネルギー スター認定のすべてのディスプレイに付けられています。

ディスプレイおよびコンピューター用のエネルギー スター プログラムの仕様は、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として作成されたものです。このため、HP の製品には、Microsoft Windows の電源管理機能によって、製品を使用していないときにエネルギー消費を削減する省電力機能が搭載されています。

電源管理機能によって、一定の時間使用していない状態が続くと、コンピューターが省電力モードまたは「スリープ」モードに切り替わります。また、エネルギー スター プログラムの認定を受けた外部ディスプレイを接続して電源管理機能を使用する場合、この機能では、ディスプレイの類似の電源管理機能もサポートされます。この機能を活かすには、ユーザーはエネルギー スター認定のコンピューターおよびディスプレイで提供されている電源管理の初期設定を使用する必要があります。システムが外部電源で動作している場合は、この電源管理の初期設定によって、エネルギー スター認定のコンピューターが以下の動作を行うように設定されています。

- 無操作状態が続くと、15 分後に外部ディスプレイの電源がオフになる
- 無操作状態が続くと、30 分後に省電力のスリープ モードを開始する

ユーザーがコンピューターの使用を再開した場合は、エネルギー スター認定のコンピューターでは省電力のスリープ モードを終了します。また、エネルギー スター認定のディスプレイでは操作を再開します。これには、ユーザーが電源/スリープ ボタンを押した場合、入力デバイスから入力信号を受信した場合、有効になったウェイク オン LAN（WOL）機能を使用してネットワーク接続から入力信号を受信した場合などがあります。

エネルギー スター プログラムの環境への貢献、電源管理機能によるエネルギー消費および経費の節減の可能性について詳しくは、EPA のエネルギー スターの電源管理に関する Web サイト（http://www.energystar.gov/powermanagement/、英語サイト）を参照してください。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け）

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

HP リサイクル プログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/index.asp を参照してください。

化学物質

HP では、REACH（Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council）などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、http://www.hp.com/go/reach/（英語サイト）にアクセスしてください。

日本向け製品の部材表示について

日本における製品含有表示法、JISC0950, 2008 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、http://www.hp.com/go/jisc0950/（英語サイト）を参照してください。

Turkey EEE Regulation（トルコ向け）

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine Restriction of Hazardous Substances（ウクライナ向け）

The equipment complies with requirements of the Technical Regulation, approved by the Resolution of Cabinet of Ministry of Ukraine as of December 3, 2008 No. 1057, in terms of restrictions for the use of certain dangerous substances in electrical and electronic equipment.

D　LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

この TFT モニターは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HP の製造基準に基づいて製造されています。輝点（常に白く表示されるピクセル）がないことが保証されています。

- 1 つのピクセルは、赤、緑、青のそれぞれ 1 つずつのサブピクセルで構成されています。
- 欠陥のあるピクセルが常に消灯していると、明るい画面に暗点が表示されているように見えます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセルより見えづらくなっています。これは、サブピクセルが小さく、特定の背景画面の時にしか確認できない場合があるためです。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュ レートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。

パネルは、90%欠陥がない状態で出荷されます。業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ない LCD が生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。